

「治水の森公園」のドングリの森づくり

私たちが森を作る

木を植えて森を作る？ 森の消滅 地震、火事、台風、洪水などの被害 関東大震災時に避難場所で被害を抑えた樹木の効果。自分たちのいのちを守る、防災・環境保全、水源涵養する本物の森を。額に汗し、土に触れ森づくりを。森づくり 幅 1m 空き地でも。イオングループ 587 万本。

まず、どこに何を植えるのか

植栽計画：紫原 6 丁目の鹿大果樹園付近の「治水の森公園」（上野敏孝氏所有、鹿児島市に貸与予定）の法面など（図面参照）。管理：住民組織？ 費用？ 定植後 3, 4 年で管理はかからない。

樹種：土地本来の潜在自然植生 マテバシイ、カシ、ヤマグリ、タブ、クヌギ、クス等。

1 m²に 3~4 本。混植・密植、2, 3 年は草取りなどの管理。以後は自然の森の掟に任せる。

種子（ドングリ）集め：タブノキは種子 7~8 月、ドングリ 9 月下旬~11 月頃。拾ってきたドングリは虫との競争 すぐ 30 時間以上漬けて中の虫を窒息させ播種する ペットボトルで OK

播種：1 年半前に発泡スチロール箱に播種済み ドングリはやっと隠れる程度の浅植え。

ポットに移す 双葉か四つ葉時 ポット底 3 ポラ土 その上 7 腐葉土 苗の根をなじませほっこらと盛り上げ、押さえつけない ポットはトロ箱で 1 年半か 2 年安置 地上部 30~50cm 成長、根がポット内に充満 移植はいつで可。3~6 月はじめがベスト。

植樹

苗は赤ちゃんを扱うように 土を押さえない ほっこらと。梅雨時 30~50cm、9 月秋雨でさらに伸び 1 年に 1m の割合で着実に育つ。植えて 1~3 年は植えた幼木に隙間 陽生の雑草 = ほとんどが帰化植物繁茂。雑草を取る 育樹祭 = 1 年 1 回、2, 3 年続ける。後は自然淘汰に はじめ林内が混み合っている 淘汰は 5~10 年後に始まる 横枝は切っても良い 木の頭は切らない 伸張が止まる。落とした枝や葉は林内に置き循環 15 年 20 年経過 高木層、亜高木層、低木層が形成

スケジュール

1 年半前に播種済み苗約 300 本 伸びすぎ 1 年程度根をポット内で充満させる。全植栽面積が約 1000 m²、1000 m² × 3 本/m² = 3000 本必要。今後、以下のスケジュールで苗造成・植樹をする。

第 1 回：22 年 5 月 1 日 トロ箱からポットへ植え替え 腐葉土、ボラ（軽石）、黒土、ポット 10cm 程度 300 個 資材は当方で準備 23 年 10 月 予行演習で植樹するための準備

22 年 7 月末 各自でタブノキの種子採取、水浸、2 日後各自でトロ箱播きだし（300~500 粒/m²） × 2 発泡スチロール箱は各自で、用土は公園のストック分を利用。上にのせる腐葉土は各自周辺から調達 植えたトロ箱は自宅か公園の周辺部に置いておく 23 年 4 月末で移植のため

22 年 9~11 月 ドングリ集め、水浸、2 日後各自でトロ箱播きだし（300~500 粒/m²） × 4 発泡スチロール箱は各自で、用土は公園のストック分を利用。上にのせる腐葉土は各自周辺から調達 自宅か公園の周辺部に置く 23 年 4 月末で移植のため

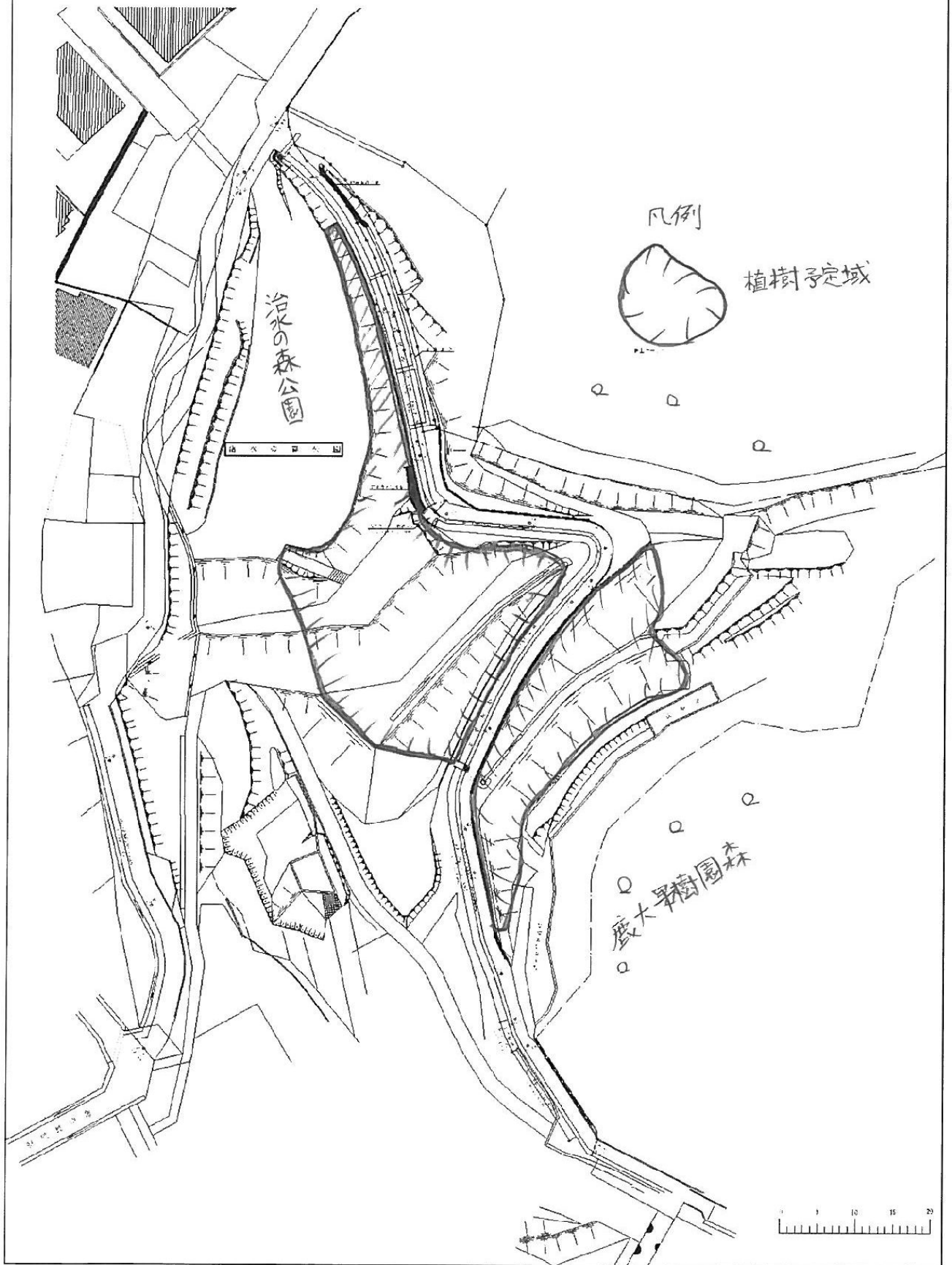
第 2 回：23 年 4 月末 、 をポットに植え替え 腐葉土、黒土、ポリポット 10cm 程度 3000 個分 資材は当方で準備

第 3 回：植樹予行演習 300 本 23 年 10 月 のポット苗（根が充満したら） 事前に草刈り（委託）パーク堆肥搬入、ワラ・コモ（委託）（当方準備）を貼り付ける（敷地 100m²）

第 4 回：植樹本番 3000 本 24 年 6 月 のポット苗を定植する パーク堆肥搬入、事前に草刈り、パーク堆肥搬入（委託）、ワラ・コモを貼り付ける（当方準備）（敷地 100m²）

第 5 回：育樹祭（草取り）24、25、26 年 9 月 、 の草取り 草取り（機械でなくむしる）は定植後 2 年間は 9 月に行う（あまり時間はかからない）

S-1 250



凡例

植樹予定域

治水の森公園

慶大早稲園森

